

主催:東京都

お風呂屋さんの未来を語ろう

SENTU meet-up

最近、公衆浴場(銭湯)に行きましたか。
今や銭湯は、単なる衛生施設ではなく、江戸時代から
続く文化資産で、外国人にも人気の高い観光資源です。
とはいえ、戦後、家庭に内風呂が普及し、銭湯の数は
全国で減り続け、東京都内で1986年に
2000軒以上あった銭湯が約540軒になりました。
銭湯が今後も東京の街に欠かせない存在であり続ける
ためには、あなたのアイデアと力が必要です。
日々の暮らしの場、交流の場として、また働く場として、
銭湯に熱い思いを抱く人たちと一緒に、
銭湯を元気にするアイデアを語り合いませんか。

都内の銭湯で
働くことに
興味がある方

活気のある
銭湯経営者の話を
聞いてみたい方

都内の銭湯を
舞台にして
新しいことに挑戦
してみたい方

とにかく
銭湯が
好きな方

相互の交流・連携のきっかけづくりを
東京都が支援します

参加者
募集中

ワークショップで、現役経営者と一緒に、銭湯を
元気にするあなたのアイデアをかたちにしましょう!

2019
2/16_土

● 12:00~14:00 (11:30受付開始)

● ゆ〜シティー蒲田 3階ホール

● 参加費:無料

● 定員:30名*

※応募者多数の場合は抽選にて参加者を決定します。

※交流会開始前後、会場であるゆ〜シティー蒲田を見学することも可能です(事務局へご
相談ください)。

銭湯ラボ

銭湯ラボ(東京都公衆浴場活性化支援実証事業)は、東京都が、公衆浴場の事業の継続につなげることを目的として、本
交流会や、浴場経営を支援するコンサルタントの派遣、浴場の経営やノウハウを学ぶセミナーの開催等を行う事業です。

お問合せ先及びお申込先(事務局):(株)日本能率協会総合研究所

〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 TEL:03-3434-6283(受付時間:平日午前9時~午後5時) Email:syaken_01@jmar.co.jp

当日のプログラム

第1部 講演 12:00~12:10	「SENTOの未来 ～文化資産として、観光資源として～」 東京都公衆浴場業生活衛生同業組合 理事長 近藤 和幸 銭湯業界を代表して、銭湯の現状と課題、どんな未来を思い描いているかを本音で語ります。成功したキャンペーンの事例紹介なども交え、銭湯活性化へ向けた希望をみなさんと共有します。
第2部 ワーク セッション 12:10~12:50	「未来のSENTO あなたならどうする??」 ファシリテーター:朝日新聞DIALOGメンバー 古井康介(株式会社POTETO Media 代表取締役社長) みなさんが銭湯経営者なら、銭湯を元気にするために、どんな戦略を練り、どんな取り組みを打ち出しますか。銭湯経営者を交えたワークセッションを通じブラッシュアップした上で、発表していただきます。
第3部 交流タイム 12:50~14:00	参加者と、銭湯経営者のみなさんに自由に交流していただきます。 ワークセッションで出たアイデアについて議論を深めていただくもよし、銭湯の魅力について語り合ってください。銭湯の未来像を共有した者同士でフリートークをお楽しみください。 (軽食・飲み物の用意あり)

参加対象者

次のいずれかに該当

- 都内の銭湯で働くことに興味がある方(経営をしてみたい方を含む)
- 都内の銭湯を舞台にして新しいことに挑戦してみたい方
- 活気のある銭湯経営者の話を聞いてみたい方
- とにかく銭湯が好きの方

申込期間・留意事項

申込期間

2019年1月16日(水)~1月31日(木)

申込先

(株)日本能率協会総合研究所 宛

メール syaken_01@jmar.co.jp

FAX 03-3432-1837

申込先宛に参加申込書をメールまたはファクシミリにて送付してください。

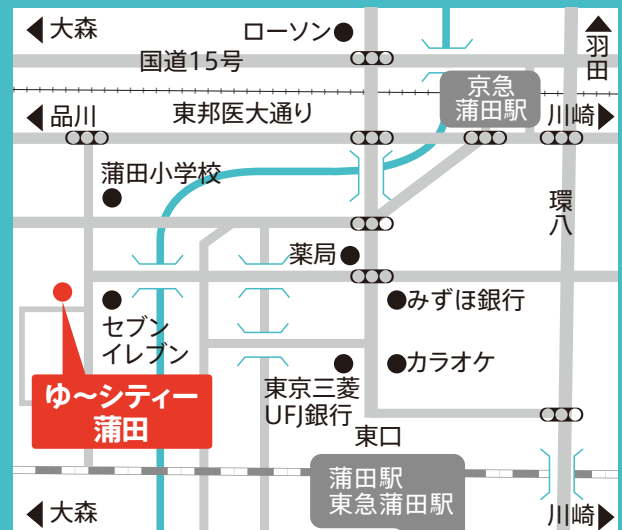
留意事項

- お申込みは専用の参加申込書をご活用ください。(氏名、ふりがな、職業、年代、電話番号、ファクシミリ番号、メールアドレス、応募動機、銭湯経営者へ聞いてみたいこと、銭湯への関わり方を明記)
- 交流会当日、報道機関による撮影・取材が入る場合がありますので、ご承知おきください。

参加銭湯一覧

- 梅の湯(立川市)
- ひだまりの泉 萩の湯(台東区)
- 改正湯(大田区)

会場アクセス



JR蒲田駅東口徒歩約5分

京浜急行電鉄蒲田駅徒歩約12分

東急電鉄蒲田駅徒歩約7分

ゆ〜シティ蒲田 3階ホール

大田区蒲田1-26-16 <http://youcity.sakura.ne.jp/>

※当日ご来場の際は、公共交通機関の利用をお願い致します。